

川崎市の取り組み

発表者：

環境局 環境総合研究所 事業推進課 国際連携・研究推進担当
小野 貴子

海外展開支援例

海外展開支援のための国際ネットワーク構築

- ・ アジア・太平洋エコビジネスフォーラム

海外展開のための基盤整備支援

- ・ 政府系事業支援スキームを活用した途上国支援

海外展開支援のためのビジネスマッチングの場の提供

- ・ 川崎国際環境技術展
- ・ グリーンイノベーションクラスター
- ・ かわさき水ビジネスネットワーク

海外展開支援のための国際ネットワーク構築 アジア・太平洋エコビジネスフォーラム

◆ 目的:

川崎市内企業の優れた環境技術や国内外の環境課題への取組についての情報交換、及び参加都市間との信頼関係の醸成

◆ 主催:川崎市 共催:国際連合環境計画(UNEP)、国立環境研究所

◆ 第13回フォーラム開催情報:

◆ 日時:平成29年2月16日(木)11:00~17:15

◆ 会場:とどろきアリーナ(川崎市中原区等々力)

◆ テーマ:「都市と産業の共生に向けて」

～川崎発!脱炭素と資源循環に向けたアジア各都市との連携～



海外展開のための基盤整備支援

政府系事業支援スキームを活用した途上国支援

環境省「アジア低炭素社会実現のためのJCM大規模形成支援事業」の枠組みによる「バンドン市・川崎市の都市間連携による低炭素都市形成支援事業FS調査」

《 2014年度実施事業 》

【事業内容】

バンドン市・川崎市の都市間連携をもとに低炭素都市形成を目指すために、メタン発酵エネルギー技術による廃棄物処理導入、省エネ型の街灯(LED)・建物内省エネ化設備導入、及びバンドン市の低炭素都市づくりに関する実現可能性調査を実施。

【実施機関】(公財)地球環境戦略研究機関、(一財)日本環境衛生センター、川崎市

《 2015年度実施事業 》

【事業内容】

バンドン市における低炭素都市構築に向けた具体的な取組を実現するため、商業施設等におけるエネルギー管理システム導入について事業化に向けた実現可能性調査を実施。

【実施機関】(公財)地球環境戦略研究機関、(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル、興和(株)、東京整流器(株)、川崎市

海外展開のための基盤整備支援 政府系事業支援スキームを活用した途上国支援

2016年2月18日

過去二年にわたるJCM事業をきっかけとして、
川崎市とバンドン市は環境分野における都市
間連携に関する覚書を締結。

名称：「インドネシア共和国西ジャワ州バンドン市
と日本国神奈川県川崎市との低炭素で持続可能な都
市形成に向けた都市間連携に関する覚書」



- 覚書締結時にバンドン市長から廃棄物分野に関していただいた具体的な支援要請

要請1	食物残差等を利用したエネルギーの創出技術(バイオダイジェスター)の導入及び普及の促進
要請2	非有機性廃棄物内の廃プラスチックの有効活用方法の模索
要請3	リサイクルセンターの設立及び運営に関する支援

海外展開のための基盤整備支援

政府系事業支援スキームを活用した途上国支援

バンドン市の現状と課題

- ◆ 人口増加
- ◆ 経済発展

↓
廃棄物発生量の増加



(写真提供:バンドン市)

↓
3Rの促進による廃棄物の排出抑制と資源化の推進が必要

- JICA草の根技術協力事業 地域活性化特別枠を活用したプロジェクトの実施
 - インドネシア国バンドン市における持続可能な資源循環型社会の構築に向けた廃棄物管理支援プロジェクトの実施を予定
 - 公益財団法人地球環境戦略研究機関、及び一般財団法人日本環境衛生センターと共同実施の予定

事業目的

バンドン市の市民・市内事業者等が、廃棄物を適切に分別し、分別後の廃棄物を資源化する能力を向上することにより、3R(Reduce, Reuse, Recycle)を適切に実施できる循環型社会を構築する取組を推進させることを目的とする。

実施体制と枠組

バンドン市における持続可能な資源循環型社会の構築に向けた廃棄物管理支援プロジェクト
〔JICA草の根技術協力事業(地域活性化特別枠)〕

川崎市環境総合研究所

- ① 廃プラ・金属等のリサイクルセンターの管理・運営能力向上のための支援
- ② 廃棄物管理マスタープラン実施能力向上のための支援

(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)

- ③ コミュニティレベルでの廃棄物の適切な分別回収・資源化の能力向上のための支援

(一財)日本環境衛生センター(JESC)

- ④ 事業系食品残渣等の適切な分別回収・資源化の能力向上のための支援

このほか、専門能力向上のための訪日合同研修などによる支援を共同で実施する

海外展開支援のためのビジネスマッチングの場の提供

①川崎国際環境技術展

環境技術を幅広く展示し、川崎から国内外へ発信し、出展企業・団体と国内外の企業等とのビジネスマッチングの場を提供する。

● 平成29年開催情報

- 日時:2月16日～17日
- 会場:とどろきアリーナ
- 出展状況:133団体217ブース(1月16日現在)



2016会場風景1



2016会場風景2

川崎国際環境技術展2017
Kawasaki International Eco-Tech Fair 2017

川崎からはじまるグリーンイノベーション
一歩先へ、もっと先へ

2017年2月16日(土) 2月17日(日) 入場無料
とどろきアリーナ [10:00~17:00]
《テーマ》資源・エネルギーの未来を拓く環境ビジネス

主催/川崎国際環境技術実行委員会
川崎国際環境技術実行委員会事務局
〒210-8585 川崎市川崎区宮前1-1-1
Tel.044-209-2313 Fax.044-209-3920
E-mail.18.ecotech@city.kawasaki.jp
公式サイト <http://www.kawasaki-eco-tech.jp>

海外展開支援のためのビジネスマッチングの場の提供

②かわさきグリーンイノベーションクラスタ

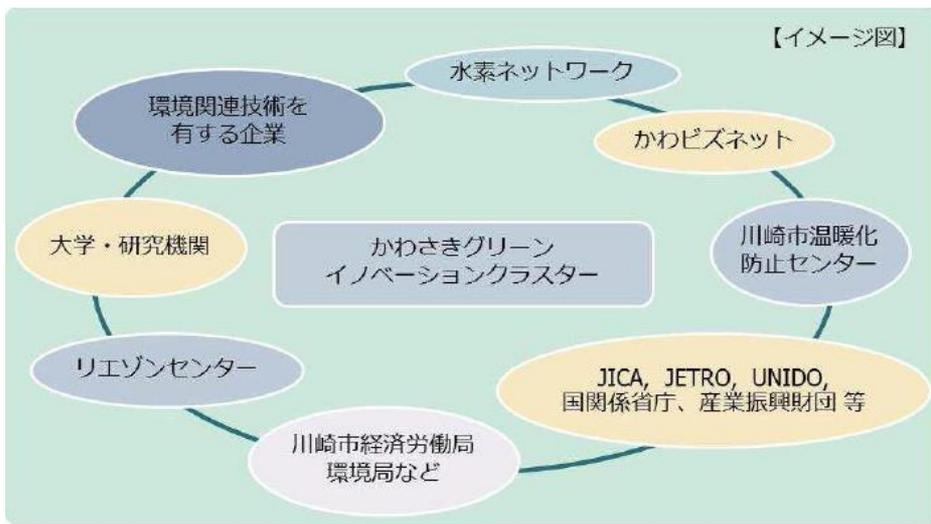
産学官民の連携によって環境改善に取り組み、産業振興と国際貢献を推進して新たな社会の形成を目指すネットワーク

普及・広報、情報提供

環境ビジネスの海外展開に役立つ各種情報を効果的に収集・発信・共有することで、新たな事業の創出を支援する。

川崎市に蓄積された環境技術、行政の知見・ノウハウ等を活用したビジネス創出支援
川崎市との連携・協業による新たな環境ビジネスを実現するために、積極的に事業展開を支援する。

会員数: 約50団体 (川崎市内および市外の企業・団体の参加が可能)



クラスタの海外展開支援事例:
平成27、28年度環境省JCM事業
「ミャンマー国ヤンゴン市における都市間連携
によるJCM案件化調査事業」



海外展開支援のためのビジネスマッチングの場の提供

③かわさき水ビジネスネットワーク

水ビジネスを通じて世界の水環境改善に貢献していくため、民間企業の技術・製品・ノウハウと、川崎市の上下水道分野における事業運営の技術・ノウハウとの連携を図り、さらに、関係する省庁、団体の協力をいただきながら水ビジネスを推進するプラットフォーム

- 会員数：54団体（川崎市内及び市外の企業・団体の参加が可能）

